



# エコアクション21 環境経営レポート

対象期間：2023年7月1日～2024年6月30日

作成日 2024年 9月 2日

改訂日 2024年10月28日

河野建設株式会社  
河野建設株式会社



## 【 目 次 】

1. 事業概要	-----	1
1) 事業者名及び代表者名	-----	1
2) 所在地	-----	1
3) 環境管理責任者及び事務局	-----	1
4) 連絡先	-----	1
5) 適用事業範囲	-----	1
6) 事業規模	-----	1
7) 推進組織図	-----	2
2. 環境経営方針	-----	3
3. 環境経営目標	-----	4
4. 環境経営計画	-----	6
5. 環境経営目標の実績	-----	7
6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	-----	8
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	-----	9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	-----	10



# 1. 事業概要

## 1) 事業者名及び代表者名

河野建設株式会社 代表取締役 河野 孝文

## 2) 所在地

〒881-1411 宮崎県児湯郡西米良村大字村所2番地91

## 3) 環境管理責任者及び事務局

EA-21責任者 : 取締役 河野 満紀

EA-21事務局 : 総務部 田中 智佳

## 4) 連絡先

連絡担当者 : 河野 満紀

TEL: 0983-36-1121 FAX: 0983-36-1122 E-mail: [kawano-const@nishimera.net](mailto:kawano-const@nishimera.net)

## 5) 対象範囲 (全社・全活動)

建設業 (土木一式工事 建築一式工事 とび・土工工事 舗装工事 管工事 解体工事)

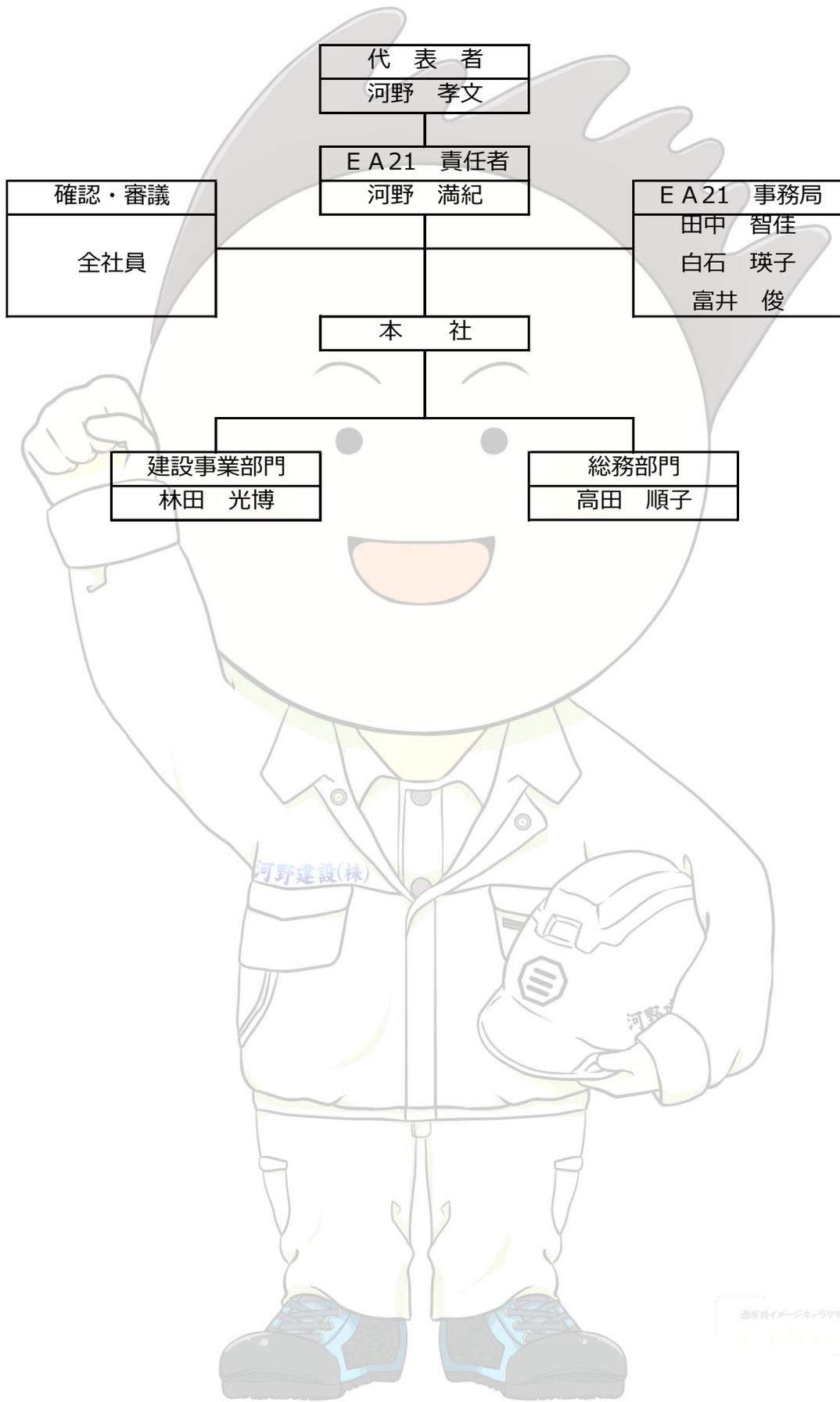
適用事業範囲 本社 : 宮崎県児湯郡西米良村大字村所2番地91

工場 : 宮崎県児湯郡西米良村大字越野尾

## 6) 事業規模

活動規模	単位	2021年	2022年	2023年
工事等の件数	件	12	26	27
従業員	人	33	33	32
事務所床面積	m <sup>2</sup>	95	95	95
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	129	129	129
資機材置場面積	m <sup>2</sup>	125	125	327

7) 推進組織図



西米島イメージキャラクター

西米島建設株式会社

## 2. 環境経営方針

# 環 境 経 営 方 針

私たちは建設工事が与える環境負荷を把握し、省資源、及びストップ温暖化の運動を社員総ぐるみで展開し、資源循環型社会形成に尽力して持続可能な社会づくりに貢献します。

1. 我々は過去の建設事業が与えた環境負荷を把握した結果、以下の事項について削減目標および活動計画を定め継続的な改善に努めます。
  - ①電気使用量・化石燃料使用量の節減による二酸化炭素排出量の削減
  - ②建設現場や事業所から排出される廃棄物の削減
  - ③節水活動による水使用量の削減
  - ④積極的な環境保全活動の推進
  - ⑤環境にやさしい施工の推進
2. 関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
3. 環境保全のためのボランティアへの積極参画や、地域での社会貢献活動に努めます。
4. 利害関係者のニーズに応えるため、社員教育を充実します。

環境方針は当社全従業員に周知徹底し、関連の協力会社さまへも協力を依頼するとともに、一般に公表します。

2020. 7. 1

河野建設株式会社  
代表取締役 河野 孝文

### 3. 環境経営目標（2023年度）

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。尚、目標設定の基準は3年平均（2018年7月～2021年6月のデータ）を使用しております。

取組項目	(基準値)		2021年度目標	2022年度目標	2023年度目標	
	2018年7月～2021年6月 平均		2021年7月～ 2022年6月	2022年7月～ 2023年6月	2023年7月～ 2024年6月	
1.二酸化炭素排出量の削減	全社計	422,126.6 kg-CO <sub>2</sub>	1%削減 (417,905.4)	2%削減 (413,684.1)	3%削減 (409,462.8)	
①電力使用量の削減		38,882.7 kWh	1%削減 (38,493.8)	2%削減 (38,105.0)	3%削減 (37,716.2)	
②燃料使用量の削減		ガソリン	26,456.3 L (26,191.7)	1%削減	2%削減 (25,927.2)	3%削減 (25,662.6)
		軽油	134,233.6 L (132,891.2)	1%削減	2%削減 (131,548.9)	3%削減 (130,206.6)
3.一般廃棄物の削減と建設副産物の再資源化率向上	全社	一般廃棄物の削減	1%削減 (156.9)	2%削減 (155.3)	3%削減 (153.7)	
		産業廃棄物の正常処理	設計書通り処理	設計書通り処理	設計書通り処理	
4.水資源使用量の削減	本社事務所 350.0 m <sup>3</sup>		1%削減 (346.5)	2%削減 (343.0)	3%削減 (339.5)	
5.環境保全活動の推進	事務所・現場周辺の清掃活動 環境ボランティア活動の参加6回		6回以上/年	6回以上/年	6回以上/年	
6.環境にやさしい施工の推進	環境に配慮した施工の計画 ・提案、施工機械の選定		環境経営計画に基づき各現場で実施			

建設副産物は工種や受注件数に左右されるため、『設計書通りの廃棄』『廃掃法を遵守した廃棄』を行う事を活動目標としています。

化学物質（PRTR制度対象物質）は使用していません。

購入電力の調整後排出係数は、2021年1月発表の九州電力(株)0.371kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

## 環境経営目標（2024年度以降）

当社の2024年度環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。尚、目標設定の基準は3年平均（2021年7月～2024年6月のデータ）を使用しております。

取組項目	(基準値)		2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標	
	2021年7月～2024年6月 平均		2024年7月～ 2025年6月	2025年7月～ 2026年6月	2026年7月～ 2027年6月	
1.二酸化炭素排出量の削減	全社計	418,655.4 kg-CO <sub>2</sub>	1%削減 (414,468.8)	2%削減 (410,282.2)	3%削減 (406,095.7)	
①電力使用量の削減		40,697.7 kWh	1%削減 (40,290.7)	2%削減 (39,883.7)	3%削減 (39,476.7)	
②燃料使用量の削減		ガソリン	25,839.2 L	1%削減 (25,580.8)	2%削減 (25,322.4)	3%削減 (25,064.0)
		軽油	131,541.5 L	1%削減 (130,226.1)	2%削減 (128,910.7)	3%削減 (127,595.3)
3.一般廃棄物の削減と建設副産物の再資源化率向上	全社	一般廃棄物の削減	1%削減 (151.5)	2%削減 (149.9)	3%削減 (148.4)	
		再資源化率 95%以上	95%以上	95%以上	95%以上	
4.水資源使用量の削減	本社事務所 336.0 m <sup>3</sup>		1%削減 (332.6)	2%削減 (329.3)	3%削減 (325.9)	
5.環境保全活動の推進	事務所・現場周辺の清掃活動 環境ボランティア活動の参加6回		6回以上/年	6回以上/年	6回以上/年	
6.環境にやさしい施工の推進	環境に配慮した施工の計画 ・提案、施工機械の選定		環境経営計画に基づき各現場で実施			

建設副産物は工種や受注件数に左右されるため、『設計書通りの廃棄』『廃掃法を遵守した廃棄』を行ない、再資源化率95%以上を目標としています。

化学物質（PRTR制度対象物質）は使用していません。

購入電力の調整後排出係数は、2024年7月発表の九州電力(株)0.475kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

## 4. 環境経営計画

環 境 目 標	実 施 事 項
1. 【電力使用量の削減】 総電気使用量 2018～2021年度平均比 3%削減	①不在箇所、不要箇所及び昼休み時は消灯している ②空調の適温化を徹底する ③残業を減らすことにより電気の使用量を削減する
2. 【燃料使用量の削減】 ①ガソリン使用量の削減 2018～2021年度平均比 3%削減 ②軽油使用量の削減 2018～2021年度平均比 3%削減	①エコドライブ（急発進・急加速及び空ぶかしの防止等）を徹底する ②通勤・現場への移動時は相乗りを徹底する ③建設機械等の作業は、過剰な負荷を掛けない（高回転にならない）ように操作する
3. 【総廃棄物の削減】 ①一般廃棄物量 2018～2021年度平均比 3%削減 ②建設副産物の再資源化率向上	①コピーは裏紙使用や両面コピー、縮小コピー、集約コピーに努めている ②詰め替え可能な製品の利用を励行する
4. 【水使用量の節減】 2018～2021年度平均比 3%削減	①手洗いや洗い物時において、日頃から節水を励行している ②大量に水を使用するときには、雨水（山水）を利用するようにする
5. 【環境保全活動の推進】 6回以上/年	①地域のボランティア活動などに積極的に参加し、協力している ②現場付近や事務所周辺は常に清掃し、整理整頓に努めている
6. 【環境にやさしい施工の推進】	①環境に配慮した施工計画の提案を行う ②工事現場では環境配慮型重機（騒音規制・低排出）を使用する
7. 【社員教育の推進】	①社員教育・社外教育を実施している

## 5. 環境経営目標に対する実績

2023年7月～2024年6月の環境目標に対する達成状況は以下の通りです。

取組項目		2023年度目標値 (2018～2021年 平均による)	2023年度実績	達成率	判定	次年度 (2024年度) 目標値
1) 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	409,462.8 kg-CO <sub>2</sub>	306,793.0 kg-CO <sub>2</sub>	133.5%	○	414,468.8 kg-CO <sub>2</sub>
① 電力使用量の削減	電力使用量 3%削減	37,716.2 kWh	35,979.0 kWh	104.8%	○	40,290.7 kWh
② 燃料使用量の削減	ガソリン使用量 3%削減	25,662.6 L	22,885.0 L	112.1%	○	25,580.8 L
	軽油使用量 3%削減	130,206.6 L	93,159.6 L	139.8%	○	130,226.1 L
2) 一般廃棄物の削減と建設副産物の再資源化率向上	一般廃棄物の削減 3%削減 (事務所)	153.7 kg 分別計量	分別して 計量しました 119.6 kg	128.5%	○	151.5 kg
	建設副産物の再資源化率 向上	マニフェストで 集計	全て正常な処理を しました 1,086.9 t	—	○	再資源化率 95%以上
3) 水資源使用量の削減	3%削減	本社事務所 339.5 m <sup>3</sup>	本社事務所 219.0m <sup>3</sup>	155.0%	○	332.6 m <sup>3</sup>
4) 環境保全活動の推進	清掃活動 ボランティア活動	6回/年	6回/年	100%	○	6回/年
5) 環境にやさしい施工の推進	環境経営計画に基づき各現場で実施	—	環境経営計画に基づき各現場で実施	—	○	—

※ 西米良村の条例により上水道に下水道の計量は含まれている。(下水道単独の計量は不可能)

※ 灯油及び事務所での軽油使用を含む二酸化炭素総排出量は 320,045.18 kg-CO<sub>2</sub> です。

購入電力の調整後排出係数は、2021年1月発表の九州電力(株)0.371 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

次年度目標値の調整後排出係数は、2024年7月発表の九州電力(株)0.475 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

## 6. 環境経営計画の取組み結果とその評価、次年度の取組内容

当社では、事業活動における環境への負荷を低減するため、環境経営計画に基づき行動しています。その評価は以下の通りです。

次年度の取組み内容は、4.環境経営計画に記載の取組内容を引き続き継続する。

取組内容	取組結果とその評価、次年度の取組内容
1. 【電力使用量の削減】	事務所においては年間を通して削減目標を達成することができ、週休2日制の導入による影響が大きいと考えられた。現場においては電気使用現場数の増加により、年間を通して目標を超過したが、環境経営計画は実施されていた。
2. 【ガソリン消費量の削減】	事務所ガソリン使用量については、ガソリン営業車に稼働が多く、年間目標を達成することはできなかった。現場ガソリン使用量については、遠方や条件の厳しい現場も少なく、年間を通じて目標を達成することができた。
3. 【軽油消費量の削減】	月次目標を超過する月は発生したが、年間目標を達成することができた。また、環境経営計画に基づいた行動は為されていた。
4. 【一般廃棄物の計量と建設副産物の再資源化率向上】	一般廃棄物については、目標を達成することができた。内訳として、分別による紙類・廃プラスチック類の再資源化が大部分を占めている為、分別による資源化を継続する。産業廃棄物は、施工計画書通りの処理が行われた。
5. 【水使用量の節減】	目標を達成することができた。こちらも、電気使用量同様、週休2日制の導入による影響が大きいと考えられた。
6. 【環境保全活動の推進】	台風の影響による中止もあったが、目標回数を達成することができた。環境ボランティア活動等を通して、地域の環境保全活動を行うことが出来た。周辺環境整備に努める。
7. 【環境にやさしい施工の推進】	施工計画書にて環境に配慮した施工の計画を行い、施工している。次年度も環境負荷の少ない施工、環境改善活動を推進する。

## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

主な環境関連法規は下記の通りです。関連法規制の遵守状況確認を毎年2回実施しており、違反はありませんでした。地域住民からのクレームや訴訟もありませんでした。

尚、工事現場による環境関連法規等の遵守状況は、安全パトロールや安全会議、工程会議等で常に確認しています。

法規制等	主な内容	当社の対応	遵守
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音に関わる環境基準の遵守</li> <li>・指定、特定地域の騒音基準の遵守</li> <li>・新設変更工事開始 30 日前までに自治体に届出</li> </ul>	≪該当する工事の場合≫ ・届出書・記載項目の確認 ・該当地域の騒音基準の確認	-
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振動に関わる環境基準の遵守</li> <li>・指定、特定地域の振動基準の遵守</li> <li>・新設変更工事開始 30 日前までに自治体に届出</li> <li>・その指定地域の市町村の市町村長に 7 日前までに届出</li> </ul>	≪該当する工事の場合≫ ・届出書・記載項目の確認 ・該当地域の振動基準の確認	-
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【法 21 条の 3-1】・建設工事に伴い生じる廃棄物処理の適用は、元請業者が排出事業者となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出先の許可の確認</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物が、運搬、処分するまでの保管義務、保管基準（60×60cm 以上の掲示板設置等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示板の設置</li> <li>・早期処理（許可業者へ委託する）</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の運搬、収集、処理の委託基準に適合したそれぞれの業者との委託契約書の締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業者との契約終了日から 5 年間保管</li> <li>・業者の許可証有効期限確認と写し保管</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理票 A 票等の 5 年間保管</li> <li>・管理票が決まった日までに受理できなかつたら県知事に報告する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニフェストの交付・保管</li> <li>・A 票の照合確認欄へ受取月日を記入し保管</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工事で生じる産廃保管場所を、面積が 300m<sup>2</sup> 以上の事業場外に保管する場合、県知事に届け出る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様式第二号の四による届出書を提出する</li> <li>・保管基準を遵守する（看板設置など）</li> </ul>	-
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年 6 月 30 日までに、その年の 3 月 31 日以前の 1 年間に交付した管理票の交付等の状況を県知事に提出する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書（様式 3 号）の作成、提出</li> </ul>	○
河川法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の使用及び河川に関する規制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当する工事は河川管理者に届け出る</li> </ul>	-
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象建設工事の請負契約書に分別解体の方法や費用等について記載し、発注者に説明する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事請負契約書に関連帳票として添付する</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象建設工事受注者は、特定建設資材（コンクリート塊、コンクリート及び鉄から成る建設資材、アスファルト塊、木材）廃棄物を再資源化する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再資源化等の促進等の実施に関する指針を遵守する</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象建設工事に係る特定建設資材廃棄物の再資源化が完了したときは、発注者に報告し、記録を作成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事完了後発注者への報告（コブリスによる報告）</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業許可または解体工事業登録の貼付</li> <li>・建設リサイクル法届出済シール貼付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業許可票の看板掲示</li> </ul>	○
オフロード法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 18 年 10 月以降製造・販売機器には適合標識の表示（基礎工事事業用機械・バックホウ・ブルドーザ等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適合証明書、表示の確認</li> </ul>	○

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

2023年度は、昨年度に引き続き大きな事業規模となりました。これは、継続していた災害復旧工事、大規模道路改良工事の受注による影響が大きく、現場電気使用量は年間を通じて目標を達成することができませんでした。また、会合や対面での研修の増加から、事務所ガソリン使用量の目標超過が増加し、年間目標を達成することができませんでした。

しかしながら、環境経営計画の継続は確認され、その他の項目及び二酸化炭素排出量においても、目標を達成することができました。また、働き方の改善により、残業を減らしながら週休二日制へ移行したことも、事務所電気使用量の通年目標達成に大きく寄与したと考えられます。

日常的な行動の継続と環境負荷低減を考慮した設備投資・技術投資により、社員にとっても、社会にとっても、よりよい環境づくりに取り組めます。

2024. 9. 2

河野建設株式会社

代表取締役 河野 孝文

